



第 42 号 2001 年 11 月

発行：萩ネットワーク協会

〒 758-8555 山口県萩市大字江向 510 萩市役所広報課内

T E L 0838 - 25 - 3131 F A X 0838 - 26 - 5458

萩市ホームページ <http://www.urban.ne.jp/home/hagicity/>

見島在住のイラストレーター岩崎千夏さん(31歳)が、平成13年度「萩市教育文化奨励賞」を受賞しました。

岩崎さんは、京都芸術短大日本画コースを卒業後、帰郷し、実家の旅館を手伝いながら画業に打ち込んでいます。離島で暮らす身近な人々を題材に作品を描き続け、これまで創画展に春秋4回入選しました。平成9年サンリオ「詩とメルヘン」イラストコンクール佳作受賞。以後、「詩とメルヘン」に毎月掲載。本誌第33号で紹介。

昨年3月から、朝日新聞九州版の毎週木曜日さんさんネット「五行歌」のイラストを担当し掲載中。今年4月からは関東版の木曜日夕刊マリオン(情報ページ)にも掲載中。

見島在住イラストレーター 岩崎千夏さん



萩時代まつり、萩城下町マラソン・・・P 2
野村萩市長3期目スタート・・・P 3
萩400年の物語 第6回(北村知紀)・・・P 4～5
ズームアップ[森井緑朗氏]・・・P 5
見島・八里ヶ瀬は魚のオアシス、萩・魚まつり・・・P 6
H A C C P対応の水産卸売市場、萩発旬の味便り・・・P 7
同窓会だより・・・P 8
萩国際大学新入学・編入学生募集・・・P 9

目次

浜崎地区が伝建地区に選定、桂太郎の遺品寄贈・・・P 10
スティーヴンスンが書いた吉田松陰・よしだみどりP 11
カンボジアに橋を架けた技術者・田辺勝義氏・・・P 11
萩市民館を設計・菊竹清訓氏・・・P 12
作陶50年 野坂康起展、三輪龍作 摩利耶展・・・P 13
上坂美礼さん、県美展大賞受賞・・・P 13
情報アラカルト、プレゼントコーナー・・・P 14～15
幕末・維新こぼれ話 中嶋治平(7)(樋口尚樹)・・・P 16

11月10日(土)・11日(日)は迷わず萩へ 終日「祭」へ御招待

10月から萩市内では、催し物が毎週のように続いています。とくに11月10日から11日にかけては、恒例の「萩・大名行列」が市内を練り歩く萩時代まつりをはじめ、萩広域ふるさとまつり、萩国際友好物産フェアと、市役所、市民体育館を中心に市内が「祭」一色になります。催しが集中する年に一度のこの日には、ぜひ地元萩で過ごしていただくことをお勧めします。

萩時代まつり

- とき 11月11日(日)
- ◆萩・大名行列(午前9時～)
 - ところ 市内各所(古萩町大名行列、平安古町備組がそれぞれの町内を出発)
 - ◆岩国藩鉄砲隊実演・萩民踊「男なら」披露(午前10時～)
 - ところ 萩城跡指月公園
 - ◆岩国藩鉄砲隊パレード(午前11時～)
 - ところ 萩城城下町
 - ◆岩国藩鉄砲隊実演(午前11時30分～)
 - ところ 萩市民球場
 - ◆萩時代パレード(午後1時～)
 - ところ 御許町交差点～市民体育館
 - 参加団体 14団体

▶平安古町備組



萩広域ふるさとまつり

- とき 11月10日(土)～11日(日)
- ところ 萩市民館、萩市役所周辺
 - 主な催し
 - 【10日(土)】
 - 開会式(正午～)
 - もちまき大会(午後0時20分～)



11日に披露される「よさこい」(写真はきらら博)

- 歌謡ショー(午後0時30分～)
- 萩圏域団体の芸能(午後1時30分～)
- 【11日(日)】
- よさこい(午前11時～、午後2時～)
- 小学生バンドドリル演奏(午前11時～)
- ダンスパフォーマンス&ポップスショー(午前11時45分～、午後3時30分～)

- 岩国藩鉄砲隊紹介・萩民踊「男なら」披露(午後0時20分～)
- 萩・大名行列披露(午後1時～)
- ※両日とも午前10時から午後4時まで物産販売があります。
- 問い合わせ 萩広域ふるさとまつり実行委員会
- (0838・22・3803)

萩国際友好物産フェア

- とき 11月10日(土)～11日(日)
- 午前10時～午後5時
 - ※11日は午後4時まで
 - ところ 萩市民体育館
 - 内容 各国物産の良品良価展示即売(韓国、ドイツ、中国、日本)
 - 問い合わせ 萩市商工課内萩国際友好物産フェア実行委員会事務局
 - (0838・25・3108)



浅利純子選手が参加!



昨年 1847 人の選手が参加

今年も維新の里萩城下町マラソンが開催され、全国各地から集まった選手たちがハーフマラソンなどの競技で競い合います。また、第1回大会に引き続き、日本陸上女子選手では五輪、世界選手権を通じて史上初の金メダリストになった浅利純子選手(ダイハツ)が来萩し、10kmの部に参加します。

とき 12月16日(日) 午前10時10分スタート

コース 萩スタジアム～中津江橋折り返し

萩市の近況につき御披露したいと存じます。

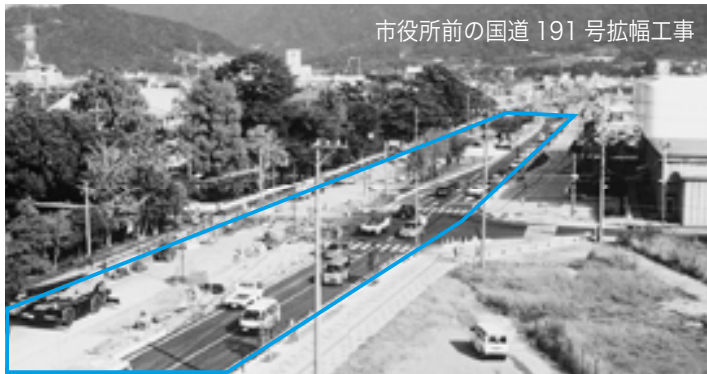
さて私事で恐縮であります。先月の市長選で無投票当選により3期目の市長に就任いたしました。皆様のふるさと萩を今後ともしっかり守り、育て、創っていく覚悟です。皆様の知恵や力をお借りしながら、21世紀の萩が引き続き元気よく、たくましくあり続けるよう全力を傾注してまいります。

最近の萩市の動静につき三点ご報告申し上げます。

野村興児萩市長 3期目スタート



野村萩市長の初登庁（10月1日）



市役所前の国道191号拡幅工事



萩しーまーと後ろに建設中の水産物卸売市場



市道上野中ノ倉線（維新ロード）からの眺望



萩の新しい観光スポット

今春、前小畑に水産物を中心としたマーケット「萩しーまーと」がオープン。国道が大混雑するほどの盛況です。また同時期に東京の品川区にありました初代総理伊藤博文公の別邸を椎原に移築竣工し、多くの観光客の来訪をいただいております。

そして、上野中ノ倉線（愛称は維新ロード）が松陰先生の墓所、誕生地から椎原台、上野台を経由し松陰大橋へ抜けるルートとして開通。眼下に市内を見下ろすことのできる眺めのよい新道です。またあゝるバスに乗りして是非御覧いただきたいと思えます。

市制70周年

来年は市制施行70周年の記念の年。折しも市役所前の国道の4車線化拡幅整備と併せて景観整備、電線地中化等を進めており、萩の中心部の姿が大きく変わります。記念事業も盛り沢山計画中です。

萩開府400年

3年後の平成16年は萩開府400年の節目の年。この時期に併せ、外堀の復元と外堀道路の整備、隣接する旧市立病院跡地に新博物館の建設等を進めております。とくに博物館は、「まちじゅう博物館」構想の拠点施設であるとともに、萩の特性を学ぶ「萩学」

の中核施設にもなるものです。

このほかにも多くの事業を現在展開中ですが、一方で萩の景観、文化財はしっかり守っていくとともに新しい時代に対応できるように諸施策を講じているところです。例えばインターネットの萩の玄関口となるポータルサイトも近々創設することとしております。

最後に、萩と萩出身者を結ぶ「萩ネットワーク」も創設以来7年がたちました。多くの方々に御愛読いただき、内容充実に努めてまいりました。未購読の方々には、ぜひ入会をお勧めください。

萩ネットワーク協会会長

萩市長 野村興児

萩400年の物語 第6回



萩築城は一門・家臣が負担する総力戦だった

慶長9年(1604)、1月毛利輝元は防長支配の本拠を萩に決するや、6月1日築城にかかり、11月11日には早くも一部が出来ただけの萩城に入り政務をとり始めた。本丸広間さえ半造作でコモ囲いだったという。これが、260年続いた萩藩のスタートであり、現在につながる萩という町の誕生でもある。新城の普請は4年後に完成するが、防長移封で苦しい一門や家臣たちへさらに重い負担をかける総力戦だった。輝元は居所も定まらず4年間大坂、京都、山口を転々としただけに、やっと決まった居城の工事が思うように進まないと、さかんに重臣たちを動員して督励した。

まず、縄張り責任者に

一門の両雄をすえる

萩城の起工日、6月1日には異説もあるが、『萩市史』の引用する『毛利四代実録考証』はこの日の縄張り始めをこう記す。

「蔵人広家・宰相秀元の二人を伴はせ給ひ、御縄張りの御式あり。東の方は広家、西の方は秀元。先ず松原の通し路を開かる」

この文章の主語はもちろん毛利輝元。築城縄張りの責任者を東側は岩国藩主の吉川広家に、西側は長府藩主の毛利秀元に命じてやらせたのである。広家も秀元も輝元の従弟で、毛利宗家を両翼から支える両川体制(吉川元春、小早川隆景)の後継者。

だが、2人が喜んでやった様子はない。『吉川家譜』は普請の場所を「指月山上の御城」としているが、こう書いている。「縄張りを命じられたが重ねて辞退した。だが、是非やれといわれたのでした」

この広家の辞退の理由を、『萩市史』は、当時若国に建設中の自分の城の方が気がかりだったからとしているが、とても、それだけではあるまい。

出費は自分負担の御手伝普請

一族重鎮の2人に限らず、萩城の普請で何かの役割を仰せつかった者は、労力も資金もすべて本人負担の「ご奉公」だった。徳川幕府が將軍の居城・江戸城の拡張工事を毛利家など諸大名に命じた御手伝普請と同じことである。

縄張りの後、吉川家が具体的にどんな負担をしたのか詳らかでないが、長府毛利家について『毛利三代実録考証』に記述がある。

←

た。山口で萩築城を指揮する輝元の相談相手として、家老の桂広繁が長く山口に留めおかれたのだ。秀元の名代で揉め事の処理など面倒な相談にもあずかっていたようだ。桂の苦勞を慰勞する秀元の書状が残っている。

「萩御普請、公儀内儀共に仰せ付けらるの由、御苦身申すもおるかに候(中略)御方こと長々山口召し置かれるの由、辛勞の至りに候」秀元本人が諸々の負担に辛勞している気配もつかえる。

足輕・中間は体をはって勞力奉仕

長府、岩国両支藩につづく一門や重臣たちも勿論、それぞれ分担を割り振られ、人も金も物も汗も出した。「家臣はその家祿の大小に応じて普請役を奉仕したのである」(『萩市史』) 微祿の足輕・中間といった人たちは「勞働力として総動員され、人海戦術で内堀・中堀の掘り上げや埋め立て整地、石の運搬、石垣や土居の構築など、土木作業に使役された」(同)

城普請への奉仕・負担は時に町民や農民にも及んだであろう。よく知られる菊屋家の功勞話もこの時である。工事にあたる家臣は住む所に困る者もいたため、同家が阿胡浜に総固屋を建てて用立てた。以来、阿胡浜は「菊ヶ浜」と呼ばれるようになったという。

築城資材の材木は阿武川流域で切り出されたが、一般住宅用も考慮して材木・薪炭の他国への販売禁止令は阿武、大津、豊田3郡へ出された。木材の調達・運搬の費用は誰が負

→

築城からほぼ半世紀後の萩城絵図。指月山上の要害が大きい見える。(慶安の萩城下町絵図の一部)



担したのかはつきりしないが、少なくとも販売禁止令のダメージは領民もつけたはずである。

急ぎ萩に上り

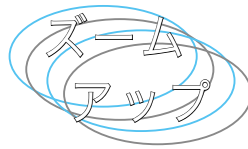
工事進行を監督してほしい

築城工事は始まったがはかばかしく進行せず、輝元をいらだたせていた。そんな時、輝元は將軍家への祝賀で上洛しなければならなくなり、一門の重臣らに、自分の名代で萩に詰め工事を監督してほしいと要請した。

熊毛郡三丘の叔父毛利元政への書状は、冒頭「萩の普請かいがいしい儀にあらず」と嘆き、穴戸元統と交代で萩に詰めてもらいたい、貴方が一番に一刻も早いお出でを待つと性急だ。

そして、この手紙には元政、元統のほか名門の実力者益田元祥、熊谷元直らも萩詰めになっていると記している。元政・元統との役割関係など分かりにくい点もあるが、輝元が

←



▶明治初年、小野為八に
よって撮影された萩城天守
閣。右手は本丸の一部。城
は明治7年に解体された。

「秀元が抱えている大工を萩普請のあ
いだし出すように。また、豊田郡の
材木を他国へ売ることを差し止め、萩
へ送り出せるようにしておかれよ」
長府藩の負担には特別なものもあつ



萩城の西半分の縄張りをした毛利秀
元。毛利輝元に何かと頼りにされた。
(下関市長府博物館の図録「毛利氏と
下関」より)

いかに築城工事を急ぎ、そのための総動員体
制をとったかはわかるのである。
実は、この4人のうち3人の家が関係し、
翌慶長10年、工事から最大の紛争・五郎
太石事件がおきる。
(つづく)

郷土史家 北村 知紀

(株) 地域総合計画研究所 代表取締役所長

森井 緑朗 氏

(東京都港区 昭和40年萩高卒)

今回は、(株) 地域総合計画研究所代表取締役所長として、ま
ちづくりの計画策定などの分野で活躍しておられる森井緑朗さ
んに、仕事のことや故郷萩への思い、萩の良さについて語って
いただきました。

私の近況

この十年間の
私の主な仕事
は、東京都内の
幾つかの区の総
合計画、都市マ
スタープラン、
住宅計画や埼玉
県下の土地利用
計画、川越市の
総合計画等で
す。

すべて「役所」

から委託を受けて進めてきた仕事
で、行政が計画立案をする、施策
提案をする際のお手伝いをさせて
いただいている、というのが仕事
の性格です。

「住民参加のまちづくり」と言
われて久しくなります。私がこの
仕事を始めた昭和40年代は新鮮な
言葉でしたが、今や普遍的な言葉
として使われています。しかし、
その実態は相変わらず主として役
所が言っているに過ぎないし、住
民にいかに参加していただくかを
役所が腐心しているに過ぎない。

例えば、私どものようなコンサル
タントの役割として「住民と行
政とが対等な関係で、その間にコ
ンサルタントが入って」などと言
いますが、実際のお金の流れから
見ると、やはり建前を超えていな
い。早く、まちづくりの主体とな
るべき住民組織が育ち、住民参加
が本物になればいいと思います。
そうした意味ではNPO的な考え
がもっと普及すべきだと思います
が・・・。

萩への思い

脳裏にある萩の原風景は、物心
がついた幼い頃の昭和20年代後半
頃から父と母に連れられて、毎月
の月初めにお参りに行っていた南
明寺です。四季それぞれの自然や
風景、山の中腹の南明寺の堀越し
から見る萩の街です。精神的な原
風景があるとすれば、それは父母
や伯父・伯母の暮らしに日常的に
あった「お茶」に関わることから
の影響だったと思います。

この二つの原風景を、仕事の
中にも転写し、活かしてみたいと思
っています。現実の仕事と想い
は全くかけ離れていて、周りに動
かされて忙しく駆け足でここまで
きたというのが実感です。

萩の良さを自分なりに再発見し
たのは、30代の始め、帰萩する度
に訪れていた母の実家があった浜
崎地区の良さです。日本の他の街
にはそうはない歴史的な雰囲気をも
った街だと気づき、今は伝統的
建造物群保存地区に指定されて良
かったと思っています。

西田町の家について

実家は、城下町のメインストリ
ートであった御成道沿いにある町
屋です。母方の親戚が江戸期に酒
造業を営んでおり、戦前は商工会
議所として利用され、その後昭和
30年代には南側の板の間を卓球場
として利用していました。卓球場
のことは、その頃萩で青春時代を
過ごした多くの方の、記憶に残っ
ているようです。今は空き家とな
っているこの建物を、まちづくりに
役立っ、自由な使い方をしたい
と思っています。

■プロフィール

昭和21年生まれ。実家は西田町。
昭和40年萩高校卒業(17期)。45
年武蔵工業大学建築学科卒業。地
域総合研究所設立期に入所し、61
年から代表取締役所長。新宿区の
基本構想、港区の住宅基本計画、
川越市の総合振興計画などを手が
ける。東京都目黒区目黒本町在住。
会社は港区南青山(表参道交差点
アンデルセン隣)

見島・八里ヶ瀬は魚のオアシス

●マグロも住む「魚類の宝庫」

日本海有数のクロマグロ漁場として知られる萩市沖・見島八里ヶ瀬漁場。萩でマグロが、と驚かれる方も多いと思いますが、暖かい対馬海流を丁度遮るような形で海底から盛り上がった高低差90メートル・長さ12マイルにも及ぶ天然岩礁帯には、カジメなどの群落が広がり、多品種の魚を育む豊かな海となっています。ウルメイワシ・ムロアジなどの小型魚をエサとするクロマグロにとっても絶好の住処と言える訳です。

萩市が水産大学校等に委託し、99年度から進められてきた八里ヶ瀬の詳細な漁場調査の結果報告が9月14日にあり、各種調査データによって、改めて「魚類の宝庫」であることが裏付けられました。

●八里ヶ瀬の豊かな海を守る

ただし、ここ数年の漁獲量データによるとイワシ類やイカ類で減少傾向が見られ、それらをエサとするマグロ・カツオ類の減少も顕著になってきていま



クロマグロトーナメント前日には 200 kg級のマグロが！

す。近年盛んに行なわれるようになった他県船による中大型まき網や、外国船による無秩序な違反操業が陰を落としていることは言うまでもありません。

萩市としては、この豊かな八里ヶ瀬漁場を守っていくために、大型まき網の操業規制などの方策を国県に対して働きかけるとともに、漁業関係者を主体とした保全運動を展開していくこととなりました。

【レポート】

萩クロマグロトーナメント

魚のオアシス「見島・八里ヶ瀬」を舞台に、10月27日・28日、第4回・萩クロマグロトーナメントが開催されました。東京・愛知・大阪・広島など他県からも14チームがエントリー、全体で20チーム約70名が参加。大会前日に同漁場にて200 kgのクロマグロが地元漁師の手で仕留められており、期待感の中でのスタートフィッシングでした。

27日は曇天で風の絶好の条件でしたが、クロマグロは姿を見せず、小型のビンナガマグロ2本とカツオ・シイラといった寂しい釣果。翌28日は強風のため出船できず、大会中止となってしまいました。地元漁師の話では、これから冬場に掛けてが絶好のシーズン。釣餌となるオキアミにマグロが慣れてくるため、八里ヶ瀬に出ることができれば、クロマグロの型を見ることはできるとのこと。

萩・魚まつりも大盛況！！



販売前から鮮魚即売に黒山の人だかり

毎年恒例の北浦地区最大の水産イベント「萩・魚まつり」が10月14日、道の駅「萩シーマー」で開催されました。雲ひとつ無い晴天のもと、昨年を上回る3万1000人の来場者で賑わいました。

目玉は何と言っても鮮魚の即売。萩市管内の漁協10支部が、それぞれ自慢の魚種を会場隣接の岸壁に漁船を横付け、当日の朝に獲れた新鮮な旬の魚介を格安で提供。販売開始の9時30分時点で既に黒山の人だかり、まさに飛びような売れ行き。萩のブランド魚（瀬付きアジ・アマダイ・剣先イカ）の試食コーナーも無料とあって開始30



販売開始と同時に売り場は戦場に！

分前から行列ができる人気ぶり。
ハイルイトは、子供達向けの「お魚のつかみどり」。会場内の特設プールにアジ・サバ・ブリ・マダイなどピチピチの活魚を放流。筆者の息子も参加し、何と80 cm級の丸々と太ったブリを抱きかかえるようにしてゲット（よくやった！）。
その他、漁協婦人部による青空海鮮食堂や地元水産加工品店20社による屋台村など、萩の旬の味覚を満喫できる一日となりました。

日本初

ハサップ

HACCP対応の水産卸売市場

萩しーまーと隣（前小畑）に着工



水産物卸売市場の完成図（画面左上が冷凍冷蔵工場、下が萩しーまーと）

マグロなど萩沖で獲れる色々な魚種が一箇所に集まり、集荷量も飛躍的に増加します。

現状では、魚種と量を確保するため仲買人は、イカは大井湊、アマダイは越ヶ浜、その他の魚は漁連市場など、といった形で、複数の市場に出向くことが必要でしたが、新市場の完成後は一箇所で用を済ませることが可能となるわけです。これは仲買人の人件費や輸送費など流通コストの削減につながり、また、漁業者の側からすると、大規模な市場が整備されることによって、魚価の安定が実現されることとなります。

●8つの魚市場を新市場に統合

萩漁港の埋立地で、新しい魚市場の建設が始まりました。本年4月に萩阿武地区の14漁協が合併した「山口はぎ漁業協同組合」が事業主体となり、現在の県漁連萩地方卸売市場と管内に分散していた7つの市場を統合します。市場の集約一元化により、イカ・アジ・イワシ・アマダイ・ヒラマサ・ブリ・

●新しい衛生管理手法を導入した最新鋭の魚市場

ところで、HACCP（ハサップ）という言葉が耳にされたことがあるでしょうか。現在、食品の安全性について関心が高まってい

ますが、HACCPとは、「食品の製造工程から流通工程での安全性を確保するための新しい安全基準」です。

新市場は、日本にある魚市場で初めてこのHACCPの考え方を導入することになります。具体的には、セリ場（鮮魚・活魚など商品があるゾーン）から、有害物質や雑菌などをシャットアウトするというものです。場内で使用する海水の紫外線殺菌、市場内に乗り入れるフォークリフトのタイヤを消毒する施設、トイレ出入口に長靴の殺菌装置、セリ場内の排水を良くするための工夫、鳥糞対策として巣を作れないような天井構造などなど、従来の魚市場に無い高度な衛生管理基準が導入されます。

●来年4月の市場完成で埋立地の整備完了

新市場の完成予定は来年の3月20日。萩漁港埋立地には、県漁連の製氷・冷凍冷蔵工場、道の駅「萩しーまーと」、親水公園が既に完成、運用を開始しており、新市場が完成することによって、整備計画は完了することになります。

水産流通の基地として、市民の憩いの場として、また新しい観光スポットとして、「水産都市・萩」の魅力を発信する基点としての役割も期待されています。

萩発旬の味便り



隠れた絶品「下り鰹」

●カツオの旬は晩秋

「目に青葉 山不如帰 初鰹」と詠まれるように、ふつう鰹の旬は5月とされています。でも、本当に脂が乗って美味しくなるのは晩秋、というのがいまどきの食通の常識。北の海から暖かい海に下ってくる鰹は丸々と太って脂の乗りも抜群、三枚おろしにする際、包丁に薄っすらと脂が浮いて来るほどです。マグロに勝る脂の乗りということで、都会では「トロかつお」と呼ばれ高値で取引されているようです。

●萩沖はカツオの好漁場

萩では10月から11月の中旬にかけて、沖合いの見島漁場などで60cmから70cmクラスの下り鰹が大量に漁獲されます。町中では、「土佐カツオ」の名前で店頭に並び、価格も一本2500円から

3000円程度とかなり安い値段となっています。60クラス一本で、7人以上のお造りが作れますから、カツオ好きの方にとっては、堪らない季節というわけです。

●親戚知人に頼んで宅配便で

召上り方は、刺身かタタキがやはり定番。お腹周りの部分は「鰹の大トロ」と呼べるくらい脂の霜降りが入って、この部分の塩焼きは、なかなかの絶品です。クール宅配便を使えば新鮮なままで、水揚げの翌日には食卓に届けることが出来ます。商品代と送料で約3500円から4000円程度で、萩沖日本海の隠れた絶品を味わうことができるわけです。一度、萩にいる親戚や知人に頼んでみられたらどうでしょう。

★お知らせ

萩の旬市場「萩しーまーと」では秋の旬の食材を、新鮮なまま地方発送しております。インターネットでも電話、FAXでも受け付けておりますので、お気軽にご利用ください。

インターネットショッピングHP <http://www.hagi-seamart.jp>
問い合わせ 萩しーまーと
(0838・24・4937、FAX 0838・24・1192)

からたち会関東支部総会

10月13日

千代田平安閣（新宿区）



40人出席。乾杯の首領をとった日尾幸司さん（27年卒）は、長年東映撮影所で往年のスターたちに殺陣指導をしていた関東支部の名物同窓生。プロジェクトXで紹介

事務局長は赤崎辰也（54年卒）
08228702081、吉村光治（55年卒）
08228755674
された田辺勝義さん（45年卒）は、からたち会本部副会長の池田誠次さんの同級生。
事務局は桂木忠（40年卒）
0482592790

広島指月会総会

9月15日

ホテルグランヴィア広島（広島市）



74人出席。今回の会には、大野綱之会長（32年卒）の呼びかけで、萩や山口から十数人が出席されました。会では「広島指月会」の横断幕を製作され、ステージ上に飾られました。懇親会では山口から出席された吉村昇二（32年卒）さんがお得意の腹話術を披露され、出席者の笑いを誘いました。

08228702081、吉村光治（55年卒）
08228755674

たちばな会総会

10月20日

萩商体育館

懇親会では、福引などもあり、内容盛りだくさんの総会でした。
事務局は
0838257227。

山口指月会総会

10月18日

翠山荘（山口市）

99人出席。藤本校長から、教科の単位制導入等の報告がありました。吉村昇二さんの名調子でビンゴ大会が行われ、会是最高に盛り上がり

事務局は山口県広報課 西公男（42年卒）
08393332570

東京指月会総会

10月20日

日本海運倶楽部（千代田区）

160人出席。引受期は23期46年卒業生、代表は中嶋幹夫さん。役員の交替がありました。幹事長が、7年間務められた



日坂秀満さんから、鹿野俊二さん（38年卒・東京ベイネットワーク社長）へ、事務局長が23年間務められた川淵正臣さんから三浦孝夫さん（43年卒、海事プレス社航空メディア局長）へ。
0352961289



たちばな会からたち会

10月27日

中京支部合同総会

百楽（名古屋市）

21人出席。中華料理店の座敷に座って、全員の自己紹介がありました。平成12年商業高校卒業の女子大学生2名の出席があり、歓迎を受けました。
事務局は宇佐川澄男（43年・機械科卒）
0564244681ユニチカ

■新入学生選抜日程（両学科共通）

入試区分	選抜方法	出願期間	試験日	合格発表
特別選抜	小論文、面接、書類選考	11月9日 まで	11月18日(日)	11月23日
推薦選抜	指定校推薦	11月1日 ～11月13日	11月18日(日)	11月23日
	一般推薦	11月1日～ 11月19日	11月25日(日)	11月30日
一般選抜	前期日程	学科試験、書類選考 1月8日 ～1月25日	2月3日(日)	2月8日
	後期日程	小論文、面接、 書類選考 3月6日 ～3月25日	3月28日(木)	3月29日
大学入試 センター 試験を利用する選 抜	前期日程	学科試験、書類選考 ※萩国際大学の個別 学力検査等無し 1月15日 ～2月1日		2月20日
	後期日程	2月19日 ～3月11日		3月20日
社会人特 別選抜	A日程	11月1日 ～11月19日	11月25日(日)	11月30日
	B日程	1月8日 ～1月25日	2月3日(日)	2月8日

■編入学生選抜日程（両学科・年次共通）

入試区分	選抜方法	出願期間	試験日	合否発表
編入学	B日程	11月16日 まで	11月25日(日)	11月30日
	C日程	3月6日 ～3月25日	3月28日(木)	3月29日

※出願書類は全て必着です。編入学のA日程の選抜は終了しました。

出願書類の請求と提出先 〒758-8585 萩市椿東浦田5000番地
萩国際大学入試センター（0838・24・4000）

萩国際大学 平成14年度 新入学・編入学生 募集中！

萩国際大学は、来年度で開学4年目を迎え、全学年が揃います。
今回は、平成14年度の新入学生と編入学生の募集についてご紹介します。

【国際学科】
異文化社会の深い知識と理解を持って、日本と世界とのかわりを的確に把握し、適切な行動ができる人材を育成
募集人員 新入学生1140人、編入学生2年次11若干名、編入

学生3年次1110人
コース 比較文化コース、比較経済コース

【経営情報学科】
21世紀の新しい企業の経営システムおよびソフトウェア開発の創造と、経営政策を立案できる人材を育成
募集人員 新入学生1160人、編入学生2年次11若干名、編入学生3年次1110人
コース 情報コース、経営コース、会計コース



菊ヶ浜海水浴場の若者たち（昭和30年代か、堀内）

- このコーナーでは、大正、昭和初期の萩の風景を撮影した写真を募集しています。（連絡先 萩市広報課 0838・25・3178）
- このコーナーで紹介した写真は萩市ホームページでも紹介しています。

20世紀に残した 萩の足跡

いつの時代にも夏の海は人々を開放的にする。そして、菊ヶ浜は萩市民のメッカである。とくに若者や子どもたちにとって遊びの天国だ。昭和31年（1955）、経済白書は「もはや戦後ではない」と宣言し、いまは東京都知事・石原慎太郎氏の小説から生まれた「太陽族」が現れた。この前年から15年余り、日本は世界が驚く高度成長路線を驚進した。この写真の頃は、まだささやかなものだ。こんな小さなオート三輪でも恰好よかったのだろうか。右端の砂浜を歩く3人連れの娘のファッションも精いっぱいのおしゃれだろうが、地味なもの。ビーチパラソルの花も咲いていない。ただ、松原の緑は今よりも多くて濃いように見える。

浜崎地区が重要伝建地区に選定！

浜崎地区が加わることで萩市は3地区となり、京都市の4地区に次いで、全国第2位となります。

10月19日に開催された国の文化審議会で、浜崎地区を国の重要伝統的建造物群保存地区に選定するという答申が出されました。市内では、既に堀内地区と平安古地区が、武家屋敷地として同保存地区に選定されており、浜崎が加わることで、京都市の4地区に次ぐ3地区となります。

浜崎地区は、江戸初期の城下町建設に伴って発達した港町です。回船問屋や水産物の屋敷、土蔵などが立ち並び、萩藩内で主要な経済的地位を占めていました。明治から昭和初期にかけては、水産加工品や夏みかんなどの交易基地として繁栄しました。

選定区域は、東西約320m、南北約530mです。伝統的な建造物群として、主屋や土蔵等が101棟、石垣、土塀、門等の工作物が56件、庭園等の環境物件が



浜崎本町筋の町並み

14件あります。選定区域内には、藩主の御座船をおさめた御船倉（国指定史跡）や住吉神社もあります。

野村萩市長は「全国でも行政が中心主体でなく、民間の運動によって伝建選定となった例は極めて少ないと言われています。これを契機に、浜崎の伝統的な町並みの保存が一層推進され、併せて浜崎地区が賑わうことを期待したいと思います」と語ってくれました。

浜崎しつちよる会「やまぐち県民活動パワーアップ賞」受賞

浜崎地区では、伝統的な町並みの保存を目的とした浜崎しつちよる会（小茅総会長）が平成10年に結成されました。以来、同会では浜崎の伝統的町並みと、そこに伝わる家宝を公開する「浜崎おたから博物館」を毎年開催しています。今回、同会の地域づくり活動が認められ、山口県から「やまぐち県民活動パワーアップ賞」が授与されました。同賞は、県の新しい魅力を想像発信し、県への愛着を深めるユニークな活動を行っている団体に贈られるものです。

萩観光シンボルレディー

平成13年度（第10回）萩観光シンボルレディーが決まり、（社）萩市観光協会から認定書が交付されました。今回選ばれたのは、濱村隆美さん（堀内／JA萩市）、佐々木優子さん（川島／中国電力）、小林弘枝さん（椿／豊田鋼機）、岡本さおりさん（中の倉／萩市役所）の4人です。シンボルレディーは、市内在住の18歳以上の女性を対象に募集されました。任期は2年間で、萩の顔として全国各地で萩をPRします。



左から、濱村さん、佐々木さん、小林さん、岡本さん

桂太郎の遺品 萩市に寄贈

萩出身の元総理大臣、桂太郎の遺品を所有していた長野県更埴市の大谷茂さんが、遺品16点を萩市に寄贈しました。

主な遺品は、愛用していた「T・K」のイニシャル入りの陸軍大将正帽と山高帽、夫人の可那さんが明治天皇に会った際にかぶっていたボンネット（縁なし帽）、桂太郎関係の写真、新聞記事等です。

市では平成16年度に開館予定の新博物館に展示する予定です。

大谷茂さんの祖父にあたる大谷五市さんは桂太郎と親交があり、大正2年に桂太郎が逝去した際、葬儀に招かれ、これらの遺品を形見としてもらい受けました。

桂太郎は頭が大きいことでも有名で「大頭」と言われていました。その脳は現在、東京大学医学部に標本保存されており、当時の日本人の平均（1356g）を大きく上回る1600gあるそうです。そのため愛用の帽子も、頭に合わせ深めで大きく作られています。



左から、可那夫人のボンネット、山高帽、陸軍大将正帽



寄贈された桂太郎の写真

■桂太郎略歴
弘化4年（1847）平安古に生まれ、3歳の時に川島に移り住む。明治34年（1901）、萩出身では3人目の総理大臣となり、第2次世界大戦前の総理大臣としては最も長く、その重職を務めた。

作家 よしだみどりさんが語る

「ステイヴンソンが書いた吉田松陰」

著書「烈々たる日本人」で、イギリスの文豪ステイヴンソンが書いた吉田松陰伝を紹介した、作家のよしだみどりさんが、10月11日、萩市で講演を行いました。興味深い講演の一部を紹介します。

不思議な結びつき

私がステイヴンソンが書いた吉田松陰を知ったのは、本当に偶然でした。以前、ある新聞社からステイヴンソンの詩の和訳を依頼されました。何回も断ったんですが、どうしても言われ引き受けました。不思議な結びつきがあったのだと思います。

それで訳し始めてみると、簡単な英語なのに非常に訳しにくかったです。こんな詩を書くステイヴンソンはどんな人なのか興味がわき、生涯を調べ始めました。その時に偶然、「松陰を書いた」という簡単な記述を見つけました。それからずっと気になって調べ続け、ようやく「人物と書物に親しむ」という本の中に松陰の記述を発見したのです。

ヨシダ・トラジロウ

その文章を読んでもみると、うれしくて元気が出る、エネルギーがもらえるような話でした。本当に日本人として誇りがもてる文章でした。

そこで、なぜ松

陰か考えると、真っ白な魂を持った美しい人だったからではないかと思っています。

松陰が紹介されている「人物と書物に親しむ」では、他にソロー（思想家）、ホイットマン（詩人）、ユゴー（詩人）、ジョン・ノックス（改

革者 など当時有名だった人ばかりが紹介されています。ヨシダ・トラジロウだけが無名でした。ステイヴンソンには、松陰が有名になるという先見の明があったんでしょう。

松陰は国際人

アメリカにコンコードという町がありますが、萩はその町によく似ていると思います。

コンコードは、独立戦争の発端となったところで、思想家・エマソンが住んでいました。また、「若草物語」の舞台の町でもあります。この町の人は、自分たちの町に誇りを感じています。そして、コンコードはアメリカ人が誇れる町です。

本当の国際人は、日本を客観視できる人、外側から日本を見られる人だと思っています。松陰が外国に行ったこともないのに、国際感覚のある人だったのは、萩が海に面していて、しかも隣国に近いと緊張感があったからではないでしょうか。

※よしださんの著書を5人にプレゼントします。くわしくは15ページをご覧ください。

NHK「プロジェクトX」で紹介 萩工業卒 田辺勝義さん

萩工業高校土木科を昭和45年に卒業した田辺勝義さん（50歳、阿武町出身）が、カンボジアに橋を架けた技術者として、3月にNHK「プロジェクトX」で「戦場にかける 日本橋～カンボジア・技術者と兵士の闘い」と題して紹介されました。

■「日本橋」再建

カンボジアの首都プノンペンと地方を結ぶ唯一の橋「日本橋」。戦乱で破壊されたその橋を再建するため、カンボジアに乗り込んだ技術者の中に萩工業高校卒業生の田辺勝義さんがいました。

田辺さんは萩工業高校卒業後、海外で大きな仕事があったと、大林組に就職しました。経験だけが武器だと思い、これまでどんな僻地もいとわず単身赴任で頑張ってきました。何よりも人と人をつなぐ橋の仕事が好きでした。

■カンボジア復興のために

平成4年11月にカンボジアに到着。しかし、そこには地雷の恐怖、不足する技術者

現場の反発など、様々な困難が田辺さんを待ち受けていました。

そして、平成6年2月に全ての工事が完了。橋は、「カンボジア・日本友好橋」と命名され、いま首都と地方を結ぶ大動脈として、カンボジアを支えています。

田辺さんは、いったん帰国した後、再びカンボジアに赴任し、現在も第二の祖国の復興に取り組んでいます。

■高校で3年間担任だった児玉明先生の話

「田辺君は大変優秀な生徒で、成績はクラスで一番でした。1、2年の時は学級委員長で、3年の時は生徒会長でした。あまりおしゃべりではないけれども、いざという時、力がでる子です。本当によく頑張ったと思います。私の自慢です。」



児玉先生

田辺さん

白い巨大「黒船」出現！

「萩市民館を設計 菊竹清訓氏」

御許町の交差点から、国道191号の平安古方向を見てみると、右手にJA会館、明倫小学校、図書館、浦上記念館があり、左手には郵便局、消防署、市役所、市民館、県総合庁舎と並んでいます。この約1.5kmの通りが萩の中心の官庁街といえます。

今では見慣れた建物ですが、その中でも低層の白いミニムメントのような萩市民館が明倫小学校に次いで古く、1968年（昭和45年）に竣工しました。

市民館は現代建築作品

1960年は、日本建築界では新しい建築思想「メタボリズム」が発表され、川添登、大高正人ら現代建築を代表する建築家によってメタボリズム・グループが結成された年です。その中の中心人物の一人である菊竹清訓氏がこの萩市民館の設計者です。

菊竹氏は35歳の1963年に出雲大社庁の舎を設計。翌年には第15回日本建築学会賞、芸術選奨文部大臣賞、アメリカ建築家協会より汎太平洋賞、国際建築連合よりオーギュスト・ペレー賞と、多くの賞を受賞しています。その4年後に萩市民館が、設計・菊竹氏、構造・松井源吾博士によってつくられました。まさに60年代に生まれた、新思想に基づいた現代建築作品です。

萩市民館の外観は、地上7メートルのコンクリート造の上部に、鉄骨の白い構造が浮かんでいます。菊竹氏のイメージは「黒船」。文明開化を迫った鉄の船が、萩市民館のモチーフになったそうです。明治維新は、萩から始まり、日本の近代化は萩の武士、町人、



婦女子みんなが結束して困難にあたり黒船撃退した輝かしい成果を、白船に表現したものです。

それから後、日本の鉄の生産量は世界一となり、鉄による自動車、造船が世界一になり、そして今日、鉄の建築が全国に行きわたり建設されています。日本の鉄で、新しい世紀がつくられています。

内部は大ホールと小ホールが対面して収容されて、1200席を収容できるオーディトリウムは、音響に必要な部分だけ天井反射板を取り付けられ、あとは全て鉄骨むき出しにするというスタジオのようなつくりで、NHK総合技術研究所の永井氏の指導協力で完成。当時、音響のすぐれた建築5指に数えられていました。こういうスタジオ風のホールが世界でつくられるようになった始まりでした。

また、このホールの照明は、一番少ないエネルギーで、明るく感

じさせる、点照明がすぐれているという石井幹子氏にデザインしてもらい、最近はおーボルトの点照明が流行しています。

全館市民の集いの場

ロビーを取り囲むガラスの窓からは、昼には光が射しこみ明るい空間をつくり、夜は逆に照明が暗い夜に市民館を浮かび上がらせる効果となっています。

「ロビーは、人々が気楽にいろんな話ができて、誰もが交流しあい、仲良くなれるスペースであることが大切。ぶらっと立ち寄って、憩い、イベントにふれ、世代を越えて交流しあい、自由に休んだりできる、市民の誰もが利用できる空間が市民館には必要だと思っています。」（菊竹清訓著「建築のこころ」より）

33年間、萩市民館は菊竹氏の当初の予想どおり私たちに集う空間を提供し続けています。

菊竹清訓（きくたけ きよのり）

1928年久留米市に生まれる。早大建築学科卒。日本建築士会連合会会長、北京工業大学名誉教授、フランス建築アカデミー会員、アメリカ建築家協会名誉会員、マクローエンジニアリング学会元会長。代表作に、北九州メディアドーム、島根県立美術館、江戸東京博物館など。

日尾幸司さん（昭和27年萩工卒） 東映で約20年にわたり殺陣を指導

日尾幸司さん（69歳）は、60年代に鶴田浩二や高倉健などの主演で一世を風靡した東映や、約20年にわたり指導されてきました。

日尾さんは阿武町奈古出身で、萩工業高校機械科を昭和27年に卒業。昭和36年から59年まで、東映で殺陣指導者として活躍されました。

指導した俳優は、鶴田浩二、高倉健、勝新太郎、若山富三郎、松方弘樹、梅宮辰夫、千葉真一、渡哲也、館ひろしなど蒼々たる顔ぶれ。日尾さんの財布には、松坂慶子、広末涼子と一緒に撮った写真がいつも入っています。



からたち会関東支部総会で（10月13日）

伊羅保茶わんを再現

作陶50年 野坂康起展

萩市玉江の陶芸家、野坂康起さん（70歳）が、作陶50年を記念して、9月に東京日本橋三越本店で個展を開きました。

伊羅保の技法を極めた「秋伊羅保茶碗」をはじめ、つぼ、大皿な



生命とエロスを表現

三輪龍作 摩利耶展

萩市椿東の陶芸家、三輪龍作さん（61歳）が、女性をモチーフにした新作「摩利耶」を発表しました。

新作は仏陀の母摩耶とキリストの母マリアをイメージした、女性の乳房をかたどった花器。両腕を胸の前で組んだものの乳房に手を



ど53点が展示されました。

伊羅保は高麗茶わんの一種で、鉄灰を使った素朴な上薬が独特の手触りを出します。古い萩焼に多く見られ、野坂さんは伊羅保茶わんの再現に取り組んできました。

野坂さんは、「50年やってまだまだ納得はいかない。初心にかえって精進したい」と話していました。

野坂さんは、三重県浜島町出身。1958年に萩に移り、日本現代工芸美術家協会に参加。日本工芸会正会員。

あて授乳するもの、体が壊れて朽ちかけたものなどさまざまです。「黒陶彩」という独自の技法で作しました。

1977年の個展で、白釉による同様の作品「夏子」を発表していますが、今回はより成熟した女性の母性やエロチズムを表現したといえます。

個展は11月3日まで、東京・銀座のフジ牛画廊で開催中です。

うえさかみれい

上坂美礼さん（河添）



山口県美術展覧会で大賞

第55回山口県美術展覧会で、応募総数358点の中から、萩市河添の上坂美礼さんの作品「たんのう」が、大賞に選ばれました。

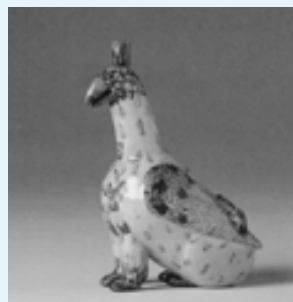
上坂さんは、山口市出身の26歳。山口大学教育学部を卒業後、臨時教員として萩東中学校で一年間美術を教えていました。作品は、縦2.5m、横3.2mの大作。内臓の胆のうを思わせる緑色や赤色の物体が黄色の背景に浮かぶように描かれています。3年前から考えていたイメージをもとに、菊ヶ浜で3日ばかりで仕上げました。

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

特別展示

ドイツ陶芸の100年

11月25日（日）まで



キマイラ [器] (1998年)

近代的な意味で、ドイツの陶芸家が作家活動を始めるのは19世紀末以降のことであり、その契機は日本陶磁の影響だったとされています。そのはじまりから現代の前衛陶芸に至る100年の歩みを70余人の陶芸家の作品約190点でたどる展覧会です。



ねじり把手付きフィアスコ (16世紀)

東西が一つになってから初めて全体像を紹介する試みとして、日本国内を巡回後、2002年にはドイツでも帰国展が計画されています。観覧料 一般1000円、学生700円

マジヨリカ名陶展

2002年1月3日（木）～3月24日（日）

2001年から2002年にか

■教育文化期間（11月1日～7日）中の開館日には、どなたでも無料で観覧できます。

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日 月曜日、年末年始は12月25日（火）から平成14年1月2日（水）まで
問い合わせ 山口県立萩美術館・浦上記念館（0838・24・2400）

情報アラカルト

関東地区

■ たちばな会関東支部総会

たちばな会関東支部総会を次のとおり開催します。

とき 11月30日(金) 午後6時30分

ところ 東京都港区南青山 はあといん乃木坂(健保会館)

■ 第33回日展

萩焼作家・吉賀将夫の作品が展示されます。

とき 11月2日(金)～24日(土) ところ 東京都台東区上野公園 東京都美術館

■ 三輪龍作 摩利耶展

萩焼作家・三輪龍作の作品が展示されます。

とき 11月3日(土) まで ところ 東京都中央区銀座 フジ平画廊

■ 十二代 坂高麗左衛門展

萩焼作家・坂高麗左衛門の作品が展示されます。

とき 11月13日(火)～19日(月) ところ 横浜市 十合横浜店(旧横浜そごう) 6F美術画廊

■ 岡田裕茶陶展

萩焼作家・岡田裕の作品が展示

されます。

とき 11月15日(木)～18日(日) ところ 東京都町田市 宝永堂

■ 十二代 坂高麗左衛門展

萩焼作家・坂高麗左衛門の作品が展示されます。

とき 12月11日(火)～17日(月) ところ 千葉市中央区 十合千葉店(旧千葉そごう) 7F美術画廊

■ テーブルウェア・フェスティバル 2002 暮らしを彩る器展

萩陶芸家協会が出版します。

とき 平成14年2月9日(土)～17日(日) ところ 東京都文京区 東京ドーム

北陸・東海地区

■ 第48回日本伝統工芸展

萩焼作家・三輪休雪、岡田裕、波多野善蔵、波多野英生の作品が展示されます。

とき 11月2日(金)～11日(日) ところ 石川県金沢市 石川県立美術館

■ 5人の作家による萩焼作品展

萩焼作家・松野龍司、植草達郎、小田光治、秦奈生美、船崎透の作

品が展示されます。

とき 11月3日(土)～11日(日) ところ 愛知県江南市高尾町 ギャラリーくれい

■ ジャズコンサート

ギャラリーくれいの5周年を記念して開催します。メンバーは、C・U・Gジャズオーケストラのリーダーを中心とした6人編成です。

とき 11月17日(土)

ところ 愛知県江南市高尾町 ギャラリーくれい

■ 内村幹雄作陶展

萩焼作家・内村幹雄の作品が展示されます。

とき 11月20日(火)～26日(月) ところ 新潟県 新潟三越

■ 守繁栄徹古喜展

萩焼作家・守繁栄徹の作品が展示されます。

とき 11月22日(木)～27日(火) ところ 富山県富山市 富山だい

わ

中国地区

■ 卓上の一品展 掌、花心

萩焼作家・三輪龍作、数下康一、濱中月村、止原伸郎、三輪和彦、金子信彦、小田光治、野坂和左、兼田昌尚、秦奈生美の作品が展示

されま

されます。

とき 11月9日(金)～16日(金) ところ 広島市南区出汐 花独楽

■ 第48回日本伝統工芸展

萩焼作家・三輪休雪、岡田裕、波多野善蔵、波多野英生の作品が展示されます。

とき 11月27日(火)～12月16日(日) ところ 岡山市 岡山県立美術館

■ 守繁栄徹・徹 父子展

萩焼作家・守繁栄徹、守繁徹の作品が展示されます。

とき 12月4日(火)～10日(月) ところ 広島市 広島三越8F美術画廊

■ 十二代 坂高麗左衛門展

萩焼作家・坂高麗左衛門の作品が展示されます。

とき 平成14年1月2日(水)～10日(木) ところ 岡山市 天満屋美術画廊

山口県関係

■ たちばな会からたち会下関支部 合同総会

たちばな会からたち会下関支部 合同総会を次のとおり開催します。

とき 12月1日(土) 午後6時

30分

ところ 下関市 新唐戸市場

■ ペアティル・ペアソン作陶展

萩焼作家・ペアティル・ペアソンの作品が展示されます。

とき 11月2日(金)～6日(火) 午前10時～午後6時

ところ 山口市 ギャラリーラ・セーナ

■ 55年振りの復活 大屋窯 磁器の発表展

大屋窯の作品が展示されます。

とき 11月11日(日)～12月2日(日) ところ 下松市山田 華のうつわ(0833-46-2237)

■ 花の様式 ナンシー派展

19世紀末、アール・ヌーボー運動の最大拠点になったナンシー派芸術の全貌を紹介。萩出身の日本画家・高島北海も紹介されます。

とき 11月17日(土)～平成14年1月14日(月) ところ 下関市 下関市立美術館

萩市関係

■ 人形と焼き絵とイラストレーション/國本祐二エキジビション

萩出身のイラストレーター・國本祐二の作品が展示されます。

とき 11月6日(火)～11日(日) 午前11時～午後8時

ところ 萩市土原 長屋門珈琲カフェ・ティカル内ギャラリー 草莽

■ Cornucopia・田嶋悦子展

大阪市在住の陶芸家・田嶋悦子の作品が展示されます。

とき 11月9日(金)～15日(木)

午前9時30分～午後6時30分

ところ 萩市呉服町 彩陶庵 本館ギャラリー

■ 55年振りの復活 大屋窯 磁器の発表展

大屋窯の作品が展示されます。

とき 11月22日(木)～12月9日(日)

ところ 萩市南古萩町 俣宿天十

平

出版情報

■「プロジェクトX」挑戦者たち

⑧「NHKプロジェクトX制作

班編

戦後のエポックメイキングなプ

ロジェクト成功の陰には、「無名

の日本人」を主人公とする「組織

と群像」の知られざるドラマがあ

った。

「戦場にかける 日本橋」カン

ボジア・技術者と兵士の闘い」と

題して、萩工業高校卒業生の田辺

勝義さんが紹介されている。番組

を見逃した方は必読。本誌11ペー

ジ参照。

定価 1700円(税別)

出版社 NHK出版

■「よみなおし戊辰戦争―幕末の

東西対立」星亮一著

戊辰戦争とは何だったのか。い

まなお誤解に満ちた幕末の闘い

を、史料や小説を題材に徹底検証

し、日本近代史の読み直しを迫る。

野村秋市長の会津若松市訪問や平

成10年に秋田県角館町で行われ

た、野村秋市長と会津若松市長の

討論についても触れている。

定価 680円(税別)

出版社 筑摩書房

■「密航留学生たちの明治維新

井上馨と幕末藩士」犬塚孝明著

命がけで密航して海外に渡った

5人の長州藩士。志士的精神を保

ちながらも、近代合理主義的精神

を吸収し得た密航留学生の代表

格、井上馨。留学生たちが明治維

新の原動力となっていく姿を生き

生きと描き出す。

定価 1020円(税別)

出版社 日本放送出版協会

■「宮本常一が見た日本」佐野真

一著

戦前から高度成長期にかけて、

日本中の村という村、島という島

を歩き、そこに生きる人々の生活

を記録した民俗学者・宮本常一。

宮本が残した膨大な資料をもと

に、著者が日本各地を取材、その

まなざしの行方を追う。見島につ

いての興味深い話が多く紹介され

プレゼント

①よしだみどり著「烈々たる

日本人」サイン入り(5人)

本誌11ページで紹介した、よし

だみどりさんの著書「日本より先

に書かれた謎の吉田松陰伝 烈々

たる日本人」は、「宝島」や「ジ

キル氏とハイド氏」の作者として

有名なイギリスの文豪ステイーヴ

ンソンが描く『ヨシダ・トラジロ

ウ』の伝記を中心に、それが書か

れるに至った背景や人間関係にま

で迫った作品。

②「釣りバカ日誌12」パン

フレット(10人)

この夏、封切られたシリーズ最

新作。萩の風景がいっぱいのこの

映画、ご覧になりましたか?映画

は見たけどパンフレットは買って

ないという方は、この機会にぜひ

ご応募をお待ちしています。

応募方法 ハガキに希望するプレ

ゼントの番号、住所、氏名、萩ネ

ットワークの感想・要望を記入の

うえ、〒758-1855 萩市

役所広報課内萩ネットワーク協会

へ(郵便番号だけで届きます)

締切 11月30日(必着)

その他 応募多数の場合は抽選。

当選は発送をもってかえさせてい

たきます

同窓会などでの帰省にお得な情報 帰ってこいよ！ふるさと事業

石見空港利用拡大促進協議会では、萩市出身者と萩市在住者の交流促進を図るため、萩市出身者が同窓会、同郷会、親族会などで帰省する際の、格安旅行メニューを売り出し中です。

これらの目的で帰省するときは、ぜひご利用ください。また、同窓会の幹事さんは、この時期をお見逃しなく！

実施期間 平成14年3月31日まで

対象者 関西・関東在住の萩市出身者で同窓会、同郷会、親族会などで帰省する方

旅行代金 往復(大阪/東京～石見空港)の航空運賃+地元のホテル1泊(朝食付)

●大阪発 19,800円～ ●東京発 24,800円～

取扱条件 出発の21日前までに5人以上で申し込んでください

申し込み 全日空トラベル㈱大阪支店(06・6377・0810)

問い合わせ 石見空港利用拡大促進協議会事務局(0856・23・0990)

特急いそかぜで行く

萩・長門路キャンペーン

西日本再発見！ 山陰路の旅

特急いそかぜを利用して、萩を旅してみませんか？JR乗車券と宿泊がセットになったお得なプランです。ぜひ、ご利用ください。

出発日 平成14年5月31日まで毎日

利用ホテル 萩本陣、萩観光ホテル、北門屋敷、千春楽、萩城観光ホテル

旅行代金(博多駅発着の場合)

13,800円～36,500円(JR往復乗車券・特急指定席券、ホテル宿泊・1泊2食付)

申し込み・問い合わせ もよりの㈱日本旅行赤い風船

【特急いそかぜ】1985年3月14日に登場して以来、北九州エリアと山陰西部を結んできた特急「いそかぜ」。シートはリクライニングシートで、居住性は快適。山陰への旅をますます便利にしています。

幕末・維新こぼれ話

万延元年（1860）萩城下江向の藩主別邸南園内でガラスの製造が開始され、1年後には朝廷に献上されるまでになりました。さらに技術改良によって、硬質で安価なガラスを大量に生産できるようになり、ガラス産業として確立したといえます。ところで、良質のガラスを製造するには、それに相応しい原料が必要です。ガラスの原料となった原石は、萩藩内のどこで採掘されたのでしょうか。万延元年、ガラスの製造が開始されるにあたって、萩藩ではガラスの原料となりそうな石を、藩内の各地から少しずつ提出させました。それらの原石を試料として適合試験を行った結果、当初は吉田宰判の厚保江舟山（現在、美祿市）から掘り出される珪石がガラスの原料として採用されました。今でも江舟山には、珪石を掘り出した跡が残っています。しかし、後に山口宰判の仁保小高野（現在、山口市）で産出される珪石が、ガラスの原料として利用されるようになりました。仁保の現地へ行くと、今でも容易に珪石のかけらを拾うことが



吉田宰判の厚保江舟山

幕末の科学者 中嶋治平 (7)

～ガラス製造と中嶋治平・その3～

Topics

伊藤博文公墓前祭



初代内閣総理大臣伊藤博文公の命日に当たる10月26日に、伊藤公墓所（品川区）で、墓前祭が行われました。子孫の伊藤博雅さん御一族、野村萩市長などが参列、穏やかな陽のなか、厳かに行われ、伊藤公の業績を偲びました。

萩・世田谷幕末維新祭り



この祭りは、世田谷区の松陰神社通り松栄会商店街が、萩市の田町商店街、土原商店街に「松陰」という歴史を共有する商店街として交流しよう、と呼びかけて始まり、今年で10回目となりました。当日（10月27・28日）は、萩市の地場産品も販売されました。

できます。昨年3月に山口大学で、厚保江舟山産と仁保小高野産の珪石の成分分析を行った結果、仁保の方が厚保よりも、珪素の含有量が多く、純度が高いことがわかりました。つまり、より透明度の高いガラスを製造することができそうです。品質の良いガラスを製造するために、より純度の高い仁保の珪石がガラス製造の原石として選ばれたのです。このように、ガラスの原料として最も相応しい原石が選ばれたことは、まさに、化学分析の必要性を説いた中嶋治平の面目躍如たるものがあります。ちなみに現在、萩市笠山にある萩ガラス工房で製造されるガラスは、笠山の安山岩を原料として使っています。萩ガラス工房のガラス器が淡い緑色をしているのは、安山岩に含まれる鉄分のためです。

仁保の小高野で採掘された珪石は、同所に設置された水車によって石粉に粉碎され、ガラスの原料として萩へ運ばれました。13代藩主毛利敬親は、幾度となく仁保の水車場を訪れています。慶応元年（1866）には、水車場に桜の苗が植えつけられ、小屋も建てられ、周辺が整備されました。ガラスの原石を砕く、仁保の水車場が名所の一つとなっていたのでしょう。この水車場近くに、明治6、7年（1873、4）ごろ、ガラスの製造所が設けられたといわれています。おそらく、萩のガラス製造所が操業を停止してから後のことだと思われます。もともと仁保の小高野は、ガラスの原料である珪石の産地であり、しかも原石を粉碎する水車もあって、ガラスを製造するには好条件の場所だったのです。仁保のガラス製造所を経営したのは、三浦三綱という人です。三浦という人物が、どのような経歴の持ち主であったか不明ですが、ひょっとしたら、萩のガラス製造所にかかわりを持っていた人物かもしれません。仁保でのガラス製造は、数年で終わったようで、明治14、15年ごろに、三浦三綱は一家をあげて長崎の三菱造船所に転居したそうです。

萩市郷土博物館 樋口尚樹